

# ベトナム株式市場の格上げの行方



## 《大詰めを迎えているベトナム株式市場の格上げ》

2025年4月に見送られたFTSE ラッセルによるベトナム株式市場のフロンティア市場から新興国市場（セカンダリー）への格上げの判断が大詰めを迎えている。ベトナムのグエン・バン・ティン財政相は9月15日にロンドンを訪れ、ベトナム財務省とロンドン証券取引所グループとの間で、更なる証券市場格上げに対する協力、グリーンファイナンスと持続可能な金融の発展促進、国際金融センターの構築協力に関する覚書を交わした。その場でグエン・バン・ティン財政相は、ベトナム株式市場が格上げに必要な審査基準をクリアしていると明言した。

4月も「格上げ決定」が期待されたが、2024年11月に実施された外国人機関投資家に対するプレファンディング規制（買付代金の事前払い込みを義務付ける規制）の緩和について、複数のベトナムの証券会社が引き続き事前入金を求めるといった動きがあったことによりその実効性を疑われ、アップグレード待ちリストにとどまることになった。しかし、5月から稼働したKRX（韓国証券取引所が開発した証券取引システム）が順調に立ち上がり、売買の同日決済が可能になったため、機関投資家の取引の利便性が改善したうえ、ベトナムの証券会社の決済リスクや資金負担が軽減した。監視対象となっているプレファンディング規制緩和の実効性は改善しており、制度面での問題はほぼ解消されたようだ。

監視対象だった課題の改善、グエン・バン・ティン財政相のロンドンでの発言を考慮すると、ベトナム株式市場の格上げの可能性は高まっているといえよう。しかし、最終的な決定については、制度の状況だけでは決まらない。実際の投資家の意見が投票という形で反映される。英文での情報開示状況、通貨ベトナムドンの取引安全性などに懸念を持っている投資家がいるともいわれており、格上げが確実と断じることはできない。最終的な格上げ可否の発表は10月7日の米国市場の取引終了後である。また、指数への採用は格上げ決定後6ヶ月程度の準備期間を経た後になる見通しである。

## 《格上げのインパクトの考え方》

正式に新興国（セカンダリー）に格上げされれば、機関投資家の大規模な資金流入が期待できる。FTSEの新興国市場株価指数の時価総額合計は8.1兆ドル(2024年9月末時点)だが、ベトナムのフロンティア市場指数における組入時価総額は370億ドルに過ぎず、タイの1,647億ドル、マレーシアの1,595億ドルに比べても小さい。また、新興市場に対する投資家のニーズは「高成長」であり、ベトナムの高い経済成長見通しを考慮すると、タイなどの他の国や地域からのベトナムへの資金シフトも十分に期待できる。このほか、ベトナム株がFTSE All-World、FTSE EM（エマージングマーケット）、FTSE Asiaなどのインデックスに組み込まれるため、これらの指数との連動を目指しているインデックスファンドからの資金流入も期待できる。

図表1 FTSE新興国市場株価指数の国別状況

国名	銘柄数	時価総額 (百万ドル)	構成比 (%)
中国	1,233	2,527,962	31.11
インド	243	1,872,795	23.05
台湾	128	1,511,431	18.60
ブラジル	80	386,921	4.76
サウジアラビア	64	344,287	4.24
南アフリカ	40	270,635	3.33
メキシコ	37	173,939	2.14
タイ	49	164,741	2.03
マレーシア	39	159,585	1.96
インドネシア	39	152,014	1.87
その他	274	560,834	6.90
合計	2,226	8,125,143	100.00
(参考)ベトナム	119	37,050	-

出所 FTSE公表資料をもとに当社作成(2024年9月末)

### ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より180日

News20250925

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

# ベトナム株式市場の格上げの行方



## 《ベトナム政府の中長期戦略に注目》

VN 指数の 2025 年の年初からのパフォーマンスは良好で、日本や中国はもちろん、他の東南アジア諸国も大きく上回っている。高い経済成長、金利水準が低位で安定しているといったファンダメンタルズが評価されているとみられるが、市場格上げに対する期待も押し上げ要因になっている可能性は十分にある。従って、10月7日に格上げが決定されても、それが VN 指数の一段の上昇要因に繋がるかどうかは不透明だ。

しかし、直近で海外からの投資資金流入の一段の拡大を期待できる動きがあったことも考慮する必要があるだろう。9月12日にベトナム政府は、2021年に決定した証券市場発展計画を更新し、新たな「ベトナム証券市場の格上げ計画」を決定した。それによると、短期的な目標としては 2025 年以内に新興国（セカンダリー）への格上げを達成すること、長期的な目標として 2030 年までに MSCI（FTSE ラッセルと並ぶ国際的な株式投資におけるベンチマーク提供会社）のインデックスに採用される市場になることを目指すとしている。そのために、外国人機関投資家が利用しやすい体制の整備を進めること、上場企業の英文による情報開示の徹底、決済システムの一段の高度化などを進める考えだ。9月15日にロンドン証券取引所との間で交わした「更なる証券市場格上げに対する協力」はこのためのものなのだろう。ベトナムの株式市場により多くの資金が集まるように、政府が努力を継続する意思を表明したものと考えられる。

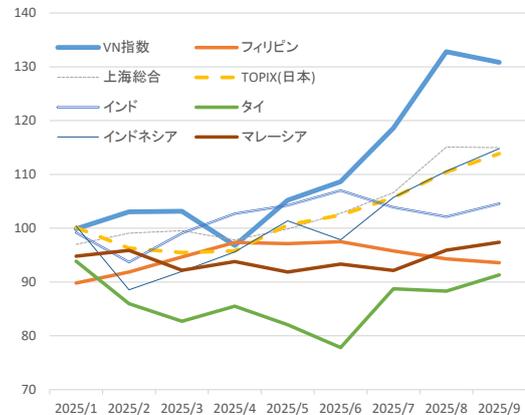
この改革が進捗すれば、他国を圧倒する力強い経済成長見通しを背景に、外国人機関投資家の関心をベトナム株式市場に引き付ける可能性は高いと考えられ、「市場格上げ期待」は政策の進捗に合わせてしばらく続くことが見込めるだろう。

## 《ニュース証券のご紹介》

ニュース証券は 2008 年 1 月に日本で最も早くベトナム株の取り扱いを開始した証券会社であり、ベトナム株式の取引に関するノウハウ、30 銘柄を超えるベトナム上場企業のフォローアップレポート（四半期毎）などにより、お客様のニーズにお応えできる体制を構築しております。また、10 年を超えるベトナム株式市場での取引経験を有し、様々な局面で適切なアドバイスができる営業スタッフがおります。

世界的な株価上昇によってエントリー、そのタイミングについて不安を持たれているかと存じますが、個別銘柄の情報をもとにしっかりナビゲートさせていただきます。ぜひ、一度、ご面談の上、ベトナム株投資の魅力や効果についてお話をさせていただければと考えます。よろしく申し上げます。

図表2 VN指数と主要株価指数の年初来パフォーマンス



注 2024年末を100として各月末終値を指数化、9月は9月24日終値を代用  
出所 各種データをもとに当社作成

### ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20250925

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。